

事業番号	事務事業名	鏡野町文化協会補助金	所管課名	生涯学習課	令和 2 年度課長名	黒瀬 豊
05984	政策名	3 創造豊かな教育・文化の里づくり	係名	生涯学習係	担当者・シート作成者	ソーター クリストフ
	施策名	32 生涯学習の推進	根拠法令等	鏡野町補助金交付規則・鏡野町文化協会規約		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	①補助金交付事務 ②年1回総会を開催 ③五月祭り・文化祭・文芸選奨などの事業を計画・実施 ④隔月に「鏡野文化」を発行 ⑤隔年に「棕の葉」を発行	地域文化の継承を目的に、昭和44年創設。

2. 事務事業の対象・意図・活動・成果指標

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	30 年度	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度
ア 文化協会会員	ア 会員数	人	見込 実績	340 323	340 324	340 357	340	340
イ	イ		見込 実績					
ウ	ウ		見込 実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	30 年度	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度
ア 文化活動を充実させる	ア 行事・会議等の実施回数	回	目標 実績 達成率	10 10 100.0%	10 10 100.0%	10 5 50.0%	10	10
イ	イ		目標 実績 達成率					
ウ	ウ		目標 実績 達成率					

③主な活動内容	⑥活動指標	単位	区分	30 年度	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度
ア 補助金の交付	ア 補助金の交付回数	回	目標 実績 達成率	1 1 100.0%	1 1 100.0%	1 1 100.0%	1	1
イ 総会・五月祭りの実施	イ 総会・五月祭りの実施回数	回	目標 実績 達成率	1 1 100.0%	1 1 100.0%	1 0 0.0%	1	1
ウ 文化祭の実施	ウ 文化祭の実施回数	回	目標 実績 達成率	1 1 100.0%	1 1 100.0%	1 0 0.0%	1	1

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01 一般会計	款 10 教育費	項 06 社会教育費	目 01 社会教育総務費	大事業 中事業 11 05	予算上の事業名 鏡野町文化協会補助金	事業番号 05984									
予算(千円)	30 年度 実績	1 年度 実績	2 年度 実績	3 年度 見込	4 年度 見込	前年比	決算(千円)	30 年度 実績	1 年度 実績	2 年度 実績	3 年度 見込	4 年度 見込	前年比			
国庫支出金							国庫支出金									
県支出金							県支出金									
町債							町債									
その他特財							その他特財									
一般財源	450	1,650	450	450	450	-1,200	一般財源	450	1,650	450	450	450	-1,200			
合計	450	1,650	450	450	450	-1,200	合計(A)	450	1,650	450	450	450	-1,200			
財源名称	従事正職員人数						1	1	1	1	1	1				
	延べ業務事務時間						820	850	800	800	800	800	-50			
	人件費計(千円)(B)						2,773	2,975	2,674	2,680	2,680	2,680	-301			
	最終予算額						450 千円	予算執行率	100.0%	トータルコスト(A+B)		3,223	4,625	3,124	3,130	3,130
主な 支出事業内容 (予算)	負担金、補助及び交付金補助金						450 千円		主な 支出事業内容 (決算)							
	負担金、補助及び交付金補助金						450 千円									

4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
会員の高齢化が進み、会員が減少している。
②この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯
会員増のため、文化協会加入を呼びかけている。
③この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか?
会員は、日頃の活動の発表の場として、文化祭を楽しみにして、制作や研究活動、毎日の練習に励んでいる。

5. 事業評価

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか? 意図することが結果に結びついているか?)		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由 説明	各部が自主的な活動をして、生涯学習の推進に役立っている。
	②町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか? 税金を投入して行うべき事業か? 住民や地域民間等に任せることはできないか?)		
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	理由 説明	地域文化の発展に役立っており、町の関与は妥当である。	
③対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地がないか?)			
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	理由 説明	文化協会には、住民であれば大人でも子どもでもだれでも参加できるので、対象も意図も妥当である。	
有効性 評価	④成果の向上余地(成果向上の余地はないか? 成果を向上させる有効な手段はないか? 何が原因で成果が向上しないのか?)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 目標水準に達している	理由 説明	高齢化による会員の減少。
	⑤廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は? 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)		
<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	理由 説明	会員の減少により、会費だけでは文化協会を運営できない状態にあり、補助事業が中止されれば活動休止になる。	
⑥方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)			
<input type="checkbox"/> 改善余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がない	理由 説明	改善の唯一の方法は、若い世代の会員を獲得して、協会を自主運営すること。	
効率性 評価	⑦事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 説明	これ以上の削減は不可能。補助金を削減すれば、会費の値上げなどで対応することになり、さらに会員の減少を招く。
⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)			
<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 説明	現状では、会員の高齢化と減少で自主運営は不可能。	
公平性 評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか? 受益者負担は公平・公正となっているか?)		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由 説明	住民であれば大人でも子どもでもだれでも参加できるので、公平である。

6. 事業評価の総括と今後の方向性

①上記の評価結果		②全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																							
A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	会員の高齢化が進み、部員の減少、活動部の休止等もあったが、新しい部を設立し若い部員も獲得も出来、また休止中の部の復活もあり、徐々にではあるが活動の活性化が見られた。																							
B 有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
③今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		④担当課としての事業の方針																							
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了		今後の改革改善案 文化祭以外での活動の場を増やし、コンクールや展覧会への出品、また施設等の慰問等を行い、文化協会の活動を周知し会員を増やす。																							
⑤改革改善案を実施する上で解決すべき課題		<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○			低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		○																						
	低下																								
会員の高齢化により、移動の足の確保が難しくなっていて、活動がしにくくなっている。		(廃止・休止・事業完了の場合は記入不要)																							